

2014道本部都市連夏季交流集会

都市のなかま約170名が函館に結集！(6/20-21)

～分科会での議論や交流会にて 都市単組のなかまとの交流深める～

道内の都市単組で構成される道本部都市連絡会議では、毎年、交流の場として夏季交流集会を開催していますが、本年度は、6月20日(金)と21日(土)の両日、函館市の花びしホテルにおいて開催され、遠くは稚内や網走・北見市から参加されるなど全道各地から約170名もの参加があり、函館市職労からは執行部を中心に21名参加しました。



都市連絡会議の結城代表のあいさつの後、函館市を代表して中林副市長から歓迎のあいさつがありました。

次に、岩見沢市職労出身である中央本部の岸法対労安局長から、給与制度の総合的見直しに係る中央での動きを中心に情勢報告がなされ、続いて、基調講演1として富良野市労連出身である中央本部の石上政治政策局長から、5月26日・27日開催の中央本部第114回中央委員会と6月6日開催の

第119回中央委員会で提起された「新たな政治対応方針(職場討議案)」について講演がありました。その中で、石上局長は、「小泉首相の三位一体改革による地方の苦しみが2009年の政権交代への原動力につながり、民主党政権により地方にやさしい政治が実現できた」「今は、また小泉首相の時代に戻つつある。政治を変えるには政権を取る以外ない。そのためには、中道・リベラルの広範な政治勢力の結集が必要だ」と訴え、方針案への理解を求めました。

◆
続いて、基調講演2として、道本部の櫛部賃金局長から「給与制度の総合的見直し」について講演がありました。講演では、「総合的見直し」のこの間の経過や問題点について説明がなされたほか、本年5月14日に公布された改正地方公務員法の概要や人事評価制度について資料を基に説明がなされました。

◆
この後、単組代表者、賃金・労働条件、青年、女性、衛生医療、保育、現業公企の7つの分科会に分かれ、1日目の夕方から2日目の午前中にかけて、それぞれの分野の課題について、単組の状況報告をしながら議論しました。



▲分科会の様子

1日目の集会終了後、交流会が開催され、特に、異なる地本が相席となったテーブルを中心に都市単組のなかまとの交流を図りました。また、学校支部の調理員が捌いた活イカがふるまわれ、参加された全道の仲間から好評をいただきました。



2日目の分科会終了後、各分科会の議論内容についての報告がなされ、それを受けて、道本部藤盛副委員長から、今年の人勸期における最大の問題である「総合的見直し」反対に向けて職場決議などの取り組みを求めたほか、人事評価制度導入などの賃金・労働条件の闘いにあたっては単組間の情報共有の必要性を訴えました。

最後に、結城代表の団結ガンバロー三唱で集会が終了しました。

———【ご注意】———

1/28付けのこどうでもご注意しましたが、1月からローンの給与天引きによる返済の取扱が変わっています。6月手当分については、天引きされた後、20日に普通口座に入金され、30日(月)に返済のための貸付口座に自動振替されます。誤って返済金の分まで払出しし、残高不足で自動振替ができなかった場合、1日目から延滞利息が発生してしまいますので、払出の際は十分気をつけていただきますようお願いいたします。



時々労働者が勝つことがあるが、ほんの一時的にすぎない。たかひの本当の成果はその直接的な成功ではなくして、労働者のますます拡がり行く団結である。